

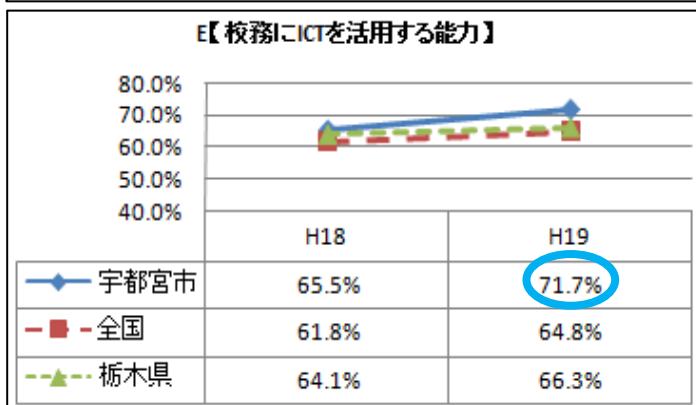
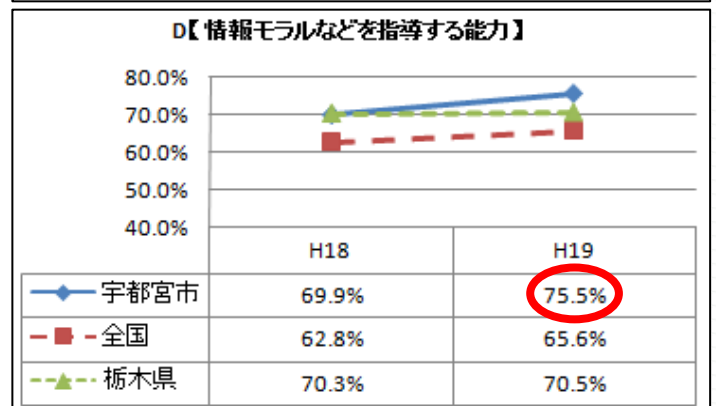
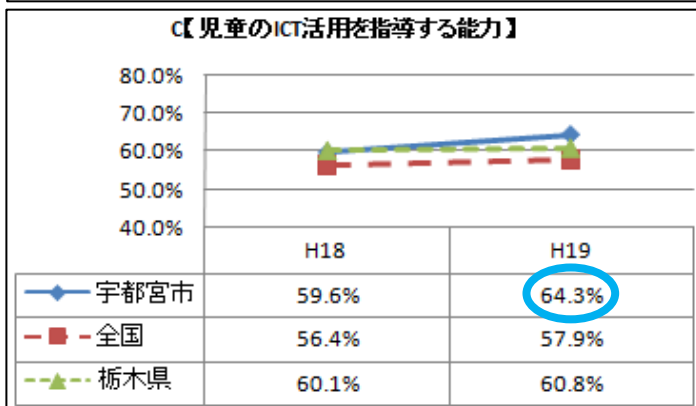
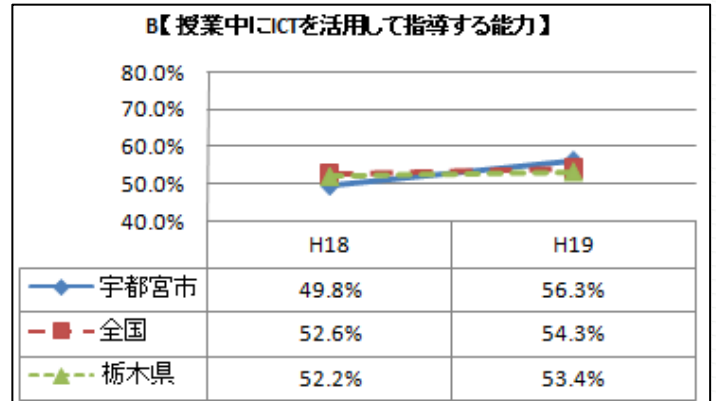
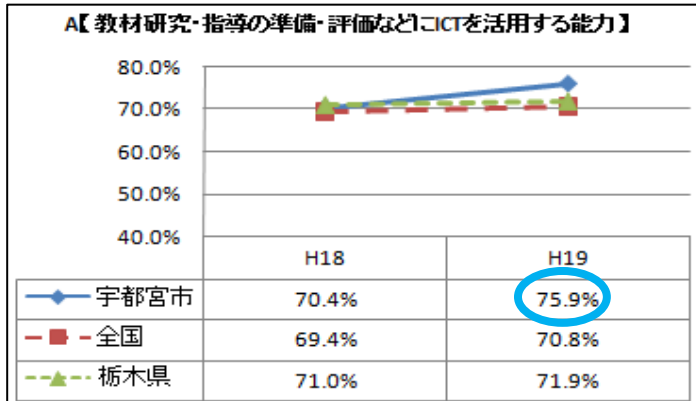
宇都宮市 学校 情報教育 だより

～学校で情報機器を活用するためのヒントや授業実践例、モラルやセキュリティに関する情報などを紹介していきます。～

教員の ICT 活用指導力等の調査、「情報モラルなどを指導する能力」が全国平均を10%上回る

文部科学省では、「IT新改革戦略」(平成18年1月)に基づき、「教員のICT活用指導力のチェックリスト」を策定しました。チェックリストは、18のチェック項目が5つのカテゴリーに分類されています。

この18の項目について、年度末に実施された「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の中で、「教員のICT活用指導力等の実態」として状況アンケート調査が行われました。この調査結果について、下記のとおりお知らせします。



アンケート調査の選択肢は下記の4つです。

選択肢1-「わりにできる」

選択肢2-「ややできる」

選択肢3-「あまりできない」



選択肢4-「できない」

グラフの数値は、1「わりにできる」

もしくは2「ややできる」と回答し

た教員の割合です。



○ICT活用指導力の5項目の全ての領域で、宇都宮市は小中学校とも、全校平均・栃木県平均を上回りました。内、A・B・Cの3項目は5%以上、Dの1項目は10%上回っています。(5%以上は  で、10%は  の部分)

○情報モラル等を指導する能力は、小中ともに全国平均を大きく上回っており、宇都宮市の教員の関心の高さを表しています。

○教員用パソコンの配備が完了したこともあり、教材研究・指導の準備や校務へのICT活用についての回答が伸びています。

○B「児童のICT活用を指導する能力」については、全国平均並みとなっています。その中でも、できると回答した割合の低かった「児童生徒がプレゼンテーションソフトを利用することへの指導」は、今後の課題です。

○「教員のICT活用指導力」の向上のため、今後、計画的に情報研修を実施すると共に情報機器の整備に努めてまいります。

ちょっと待って！情報セキュリティは大丈夫？

事例1 インターネット上のコンテンツ利用による個人情報への流出



インターネット上の無料地図情報検索サービス「グーグルマップ」で、児童生徒の氏名・住所等の個人情報が誰でも閲覧できる状態になっていた問題が、全国で多数、報道されています。

業者のサーバに個人情報を預ける形で保管するサービスは、十分な注意が必要です。特に、児童生徒の住所・氏名・写真などを、インターネット上のサーバに保存することは、厳禁です。

- (サーバに個人情報を預ける形で保管するサービスの例)
- ・地図サービスに情報を加えるなどして利用できるもの
 - ・ファイル(Word/Excel)を共有して作業・保存できるもの
 - ・個人のスケジュール管理が、自由に入力してできるもの
 - ・データを保存できるディスクサービス
 - ・写真を保存しアルバムが作れるサービス

事例2 セキュリティ対策ソフト(偽物)を押し売りする不正プログラム

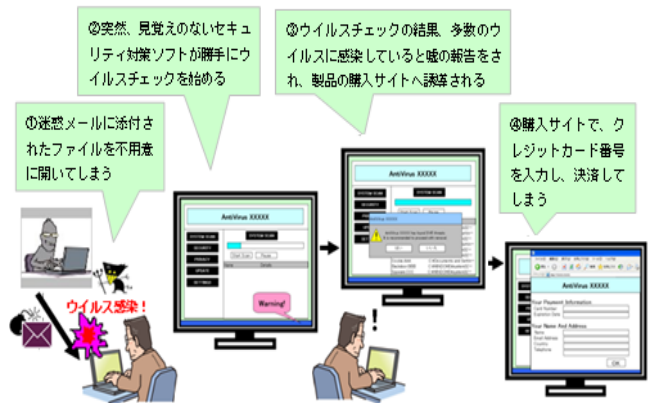
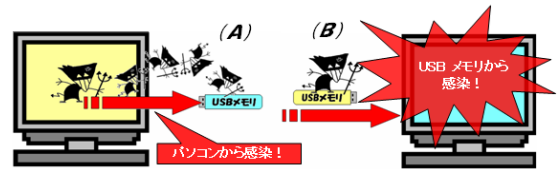


図1-3: 最近の「セキュリティ対策ソフトの押し売り」行為の一連の流れの例

事例3 USBメモリによるウイルス感染



インターネット経由だけでなく、USBメモリなどのメディアを使って複数のパソコンや周辺機器でデータを共有する場合の感染も警戒しないと、思わぬ被害を受ける場合があります。最新の調査では、新種ウイルスの53・7%がUSBメモリを通じて活動する機能を備えているという報告もあります。独立行政法人情報処理推進機構 HP

上河内・河内地域学校の校内LAN開通

これまでに、普通教室・特別教室のインターネットの工事が終了しました。右図は、教員用パソコンを教室で利用する場合の接続方法です。児童・生徒が操作する場合は、図書館の児童生徒用パソコンを教室に移動して利用することができます。

関連して、図書管理用パソコンの新モジュージャックへの接続変更と設定調整作業を業者が行います。13校中11校がパソコン室経由の仮接続で稼働しておりましたので、それを修正するものです。

合わせて、図書館の児童・生徒用ノートパソコン設置場所へのLANケーブルの接続作業も行います。

新設のLANケーブルの接続に障害がある場合は、学校管理課管理G632-2709へお問い合わせください。機器の接続と使用方法については教育センターへどうぞ。

教室で教員用パソコンを使うには？

<職員室で行うこと>

- ① 盗難防止用のワイヤーキーとLANケーブルをはずします。
※学校には、個別キーとマスターキーが配布されています。

<教室・特別教室で行うこと>

- ② プロジェクターとパソコンを、プロジェクター用ケーブルでつなぎます。
- ③ 教員用パソコンと教室の校内LAN用モジュージャックをLANケーブルで接続します。
※プロジェクターが、小学校に1台・中学校に2台配備されています。(別にパソコン室に1台)



校内LAN用モジュージャック



パソコン



プロジェクター

- ④ パソコンとプロジェクターを起動させて、教材をスクリーンに映します。

※教員用パソコンは、「ユーザー名」「パスワード」を用いてログインすることで起動します。
※教員用パソコンには、DVDを再生することができるドライブが装備されています。
※ダウンロードコンバータが、各校3台配備されています。細かい文字を含まない資料(写真・イラスト等)であれば、テレビに映すことができます。

<使用後>

※ 教員用パソコンは、職員室で、LANケーブルにつなぎ盗難防止用のワイヤーでロックして保管します。



ダウンロードコンバータ



図書館児童生使用端末(2台)は、ネットワークに接続せずに使用することが可能です。なお、教員用パソコンは教室からでも職員室の共有フォルダにアクセスすることができますので、児童生徒に操作させることのないようお願いいたします。